

勿凝学問 246

謙信ではないけれど、依怙^{えこ}によっては弓矢はとらぬ、ただ筋目^{いずかた}をもって何方へも合力す
衆院選、県知事選で賑わっている茨城6区で、今日、話してきたこと

2009年8月26日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

今週の[週刊社会保障の書評](#)の中で、僕について、「おそらく著者は、社会保障の立て直しには増税や社会保険料の引上げが必要であり、それを実現するならば、与党でも野党でも結構だ・・・と直ちに指摘するだろう」と紹介してある。その通り。そしてこの書評を読んで、上杉謙信の言葉を思い出したので、本稿を、「依怙によっては弓矢はとらぬ、ただ筋目をもって何方へも合力す」とする。

今日は、つくば市、つまり8月30日に同日選挙の衆院選、県知事選で賑わっている茨城6区で話をしてきた。今日の講演でも話したように、僕は『医療政策は選挙で変える——再分配政策の政治経済学IV』には、次のようにしか書いていない(pp.xix-xx)。

まがりなりにもマニフェスト選挙がこの国に根付きはじめ、選挙の事前に政策の内容が示されるようになってきた。そしてネットを通じた情報交換が相当なまでに普及してきた。この二つの条件を重ね合わせると、今の時代、医療関係者や労働者たちが政治家をかかえたり、政党に大金を献金したりするような政治に媚びる旧来の手法を採ることは、かえってみずからの行動に足枷を科すことになるのではないかと思っている。政治家が欲するのは選挙の際の票にあり、他は票を得るための手段にすぎない。選挙の度に、自分たちに最も関心のある政策に集中して、政党を評価しては投票する。選挙前夜にでもマニフェストの中の、たとえば医療政策のページを見るまでは、どっちにつくか分からせずに、主体的に浮動票を演じる——それでいいではないか（本書「[勿凝学問 46](#)」「[勿凝学問 64](#)」参照）。

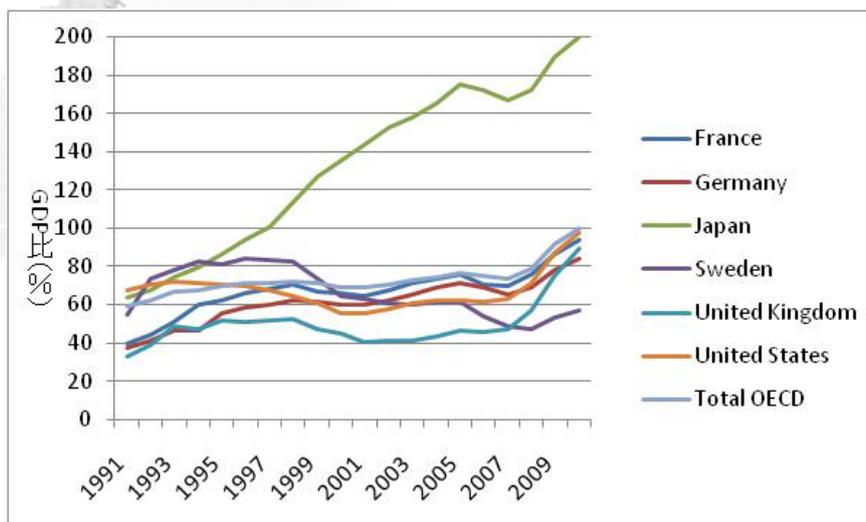
——ということが、茨城県医師会への感想です¹。

さて、今日の講演。メインメッセージは、[勿凝学問 240](#)に書いた「ポピュリズムと闘う静かなる革命」戦士が共有する知識を、とにかくみんなで共有してくださいねというもの。

¹ 次もご参照ください。勿凝学問 185 [医療経営と消費税改革——消費税に対する自民・民主の具体的方針](#)（2008年10月18日脱稿）

講演で話した社会保障の綻びの現状と機能強化の今後の計画については、この文章では省略し、本日のオーディエンスに見てもらった財政問題のみを紹介しておきます。

先進国の政府債務(gross)



10

Keio University
Y Kenjoh



そして、7年も前の2002年の話ですけど、

2002年 ムーディーズの国債格付け

- ムーディーズは、日本国債をA2と格下げし、ギリシア、イスラエル、ボツアナ(南アフリカの北隣の国)と同じランク
- 財務省の反論に対し、ムーディーズは、「日本の一般政府(の財政赤字、公的債務残高)は、どの指標で見ても、戦後の先進諸国に例を見ない水準に近づくと予想されるため、「未踏の領域」に入りつつある。」とし、今まで例を見ない悪い財政状態なので、格付けはA2としたと再反論。

15

Keio University
Y Kenjoh

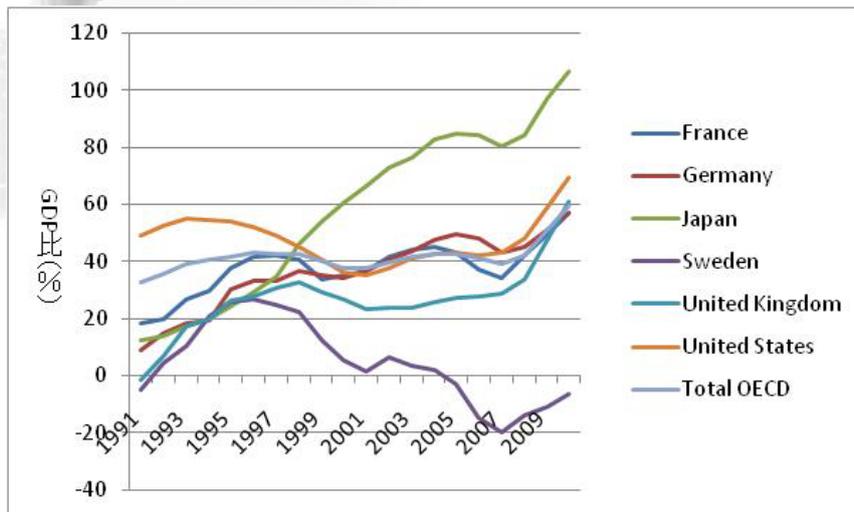


- ちなみに、当時

- ギリシア、イスラエルはGDP規模の政府債務であり、日本よりはかなり財政状況はましで、しかも、最近では、債務が減少傾向。また、ボツワナはほとんど債務はなし。

政府の総債務(gross)ではなく、総債務から政府の金融資産を引いた純債務 (net) をみるべしと言う方もいらっしゃるるので、純債務をみれば。

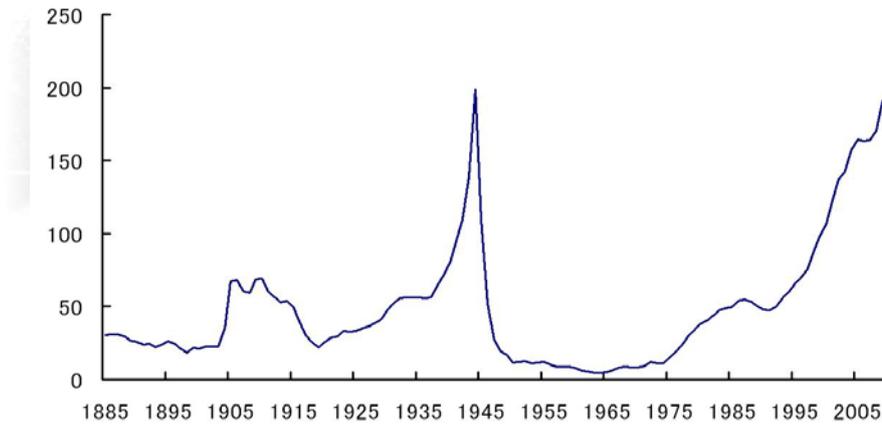
先進国の政府債務(net)



そして、この国の政府債務を時系列でみれば。

財政は戦時体制

政府債務(対GDP比, %)



東京大学岩本康志氏のブログ「景気との戦争」

12

Keio University
Y Kenjoh



注) 岩本先生には紹介の許可を頂いています。

[「景気との戦争」](#) 参照

ふ〜んっ——第2次世界大戦の政府債務残高と同じ水準になってしまったわけか。第2次世界大戦の後には、ハイパーインフレで政府債務がチャラになってしまったんだけど、今度はどうなるんだろ。

この国の財政と経済が、今後、どのような展開をみせるのか——それは誰にも分かってないわけです。しかしながら、解かなければならない問については、ポピュリズムと闘う革命戦士たちは共有しています。

日本の目の前にある三大巨壁

- 巨額の累積債務
 - 社会保障の崩壊
 - 政府不信
-
- この状況下でいかなる政策解を見出すか？

この国の将来、どうすれば、いいんでしょうね？ 一緒に悩みましょうね。

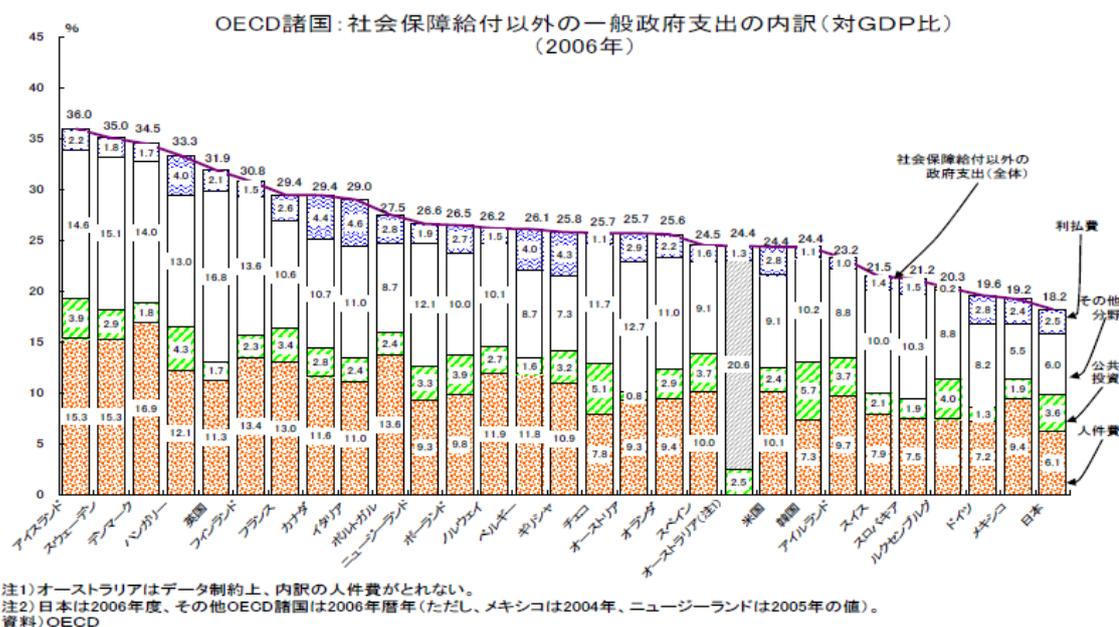
「消費税のことなど議論する必要もない」と言わないと代表になれない政党がありましたけど、どうなんでしょうか。その後、「議論はしていい」というふうに変わったみたいですが、さすがにそういうのは、僕の本のタイトルにある「政策転換」とは言えないでしょうし。。

僕は「この国の今の状況で、負担増のビジョンを示さない政党には拒否権を発動しましょうねっ」と言い続けてきたんですけど、僕の方が間違えているんでしょうかねえ。世の中では、ムダをなくせばなんとかかなると言う論が根強いんですけど、なんだか、そういうレベルの深刻さじゃないようにも見えるんですよ、この国の財政状況は。その上、社会保障の機能強化をはかるための莫大な財政需要がある。まあ、数年前まで「ムダをなくせばなんとかかなる」とだけ言っていた人たちは、さすがにヤバイかなと思って、ここ1、2年で徐々にスタンスを変えてきて、今は「いずれは負担増は必要だろうけど、まずは」という論者に転向してしまった。彼らが、僕らが昔から言っている「社会保障の機能強化とムダの削除は両立できる」と言う域に到達するまで、後少しなのかもしれませんが、スタート地点で間違った認識からはじめてしまったこのお騒がせな御仁たちは、まったく面倒な人たちで、最初から、いなかった方がましな人たちだったと僕は思っている。これまでどれほど、社会保障の機能強化着手の足を引っ張ってきたことか。。

それに次の図にあるように、政府支出から社会保障給付費を引いた「社会保障給付以外の政府支出」そのものが、日本はものすごく低い。ポピュリストと闘う革命戦士はみんな知っていることですが、普通の人たちは、「社会保障給付以外の政府支出」が日本はダン

トツに高いと思っていたりして——たとえば、本当は情けないほどに低い政府の「人件費」が世界一くらいに高いと思っていたりしていたりもするのでしょうかね（笑）。だって、政治家さん達やメディアさん達が、それらしきことばかり言うから、みんなもそう思いますよねえ。

経済財政諮問会議配付資料
(2008年12月9日)



それに、日本政府は財政規律を大切にしているんですよという姿勢を市場に示しておく必要はないのでしょうかね。そんなことはないことを願うけど、日本の国債が市場に見放されて、結果、金利が上昇してしまったら、この国はコロリッと破綻して、国民の生活は、大混乱に陥ってしまうんですよ。

そして、やはり、本日のオーディエンスのみなさんと共有しておきたいことは、この前の6月9日の経済財政諮問会議に提出された資料「[経済財政の中期試算](#)」です。この資料は必読ですので、しっかりと読んでおいてください。僕が、今日の講演で最後に、「[工程表にある社会保障の機能強化](#)」以上の機能強化を図るのであれば、公債等残高を安定的に引き下げていく7%よりも高い消費税の引き上げが必要になってきている（言うまでもなく、医療には社会保険を主財源にするのが良いと言いつけているので、消費税換算はその量的な規模を実感してもらうための一時の方便）」と話しましたが、こうした話は、講演の中でも示しましたように、経済財政の中期試算にある、次のストーリーに基づいたものです——それとっておきますけど、今の経済財政諮問会議は昔の経済財政諮問会議とは、性質がものすごく異なりますからね。僕が今日の講演で話をしたように、昔のは、「小さな政府」を目指した悪い経済財政諮問会議で、今のは、「中福祉中負担国家」を目指す良い経済

財政諮問会議です。「ポピュリズムと闘う静かなる革命」戦士の最も強力な機関として社会保障の機能強化を実現するために、この国で一番前向きに取り組んでいるのが今の経済財政諮問会議なのです——信じられないでしょうけど、それが事実なんですヨ。

経済財政の中期試算 経済財政諮問会議

● 経済想定

	世界経済 順調回復 シナリオ	世界経済 急回復 シナリオ	世界経済 底ばい継続 シナリオ
世界経済	世界経済が混乱を脱し、2010年から2011年にかけて我が国経済及び世界経済が順調に回復	世界経済が早期に混乱を脱し、2010年には我が国経済及び世界経済が急回復・高成長を遂げる	世界経済の混乱が続くため、我が国の景気後退も深刻化・長期化
全要素生産性 (TFP) 上昇率	1.0%程度まで上昇	1.5%程度まで上昇	0.4%程度まで低下
労働 参加率	女性・高齢者で上昇	女性・高齢者に加えてそれ以外でも上昇	女性・高齢者を含め全てで現状水準一定

67

Keio University
Y Kenjoh



● 財政想定

- ① 社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施
- 基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応

68

Keio University
Y Kenjoh



• 歳出のパターン

(2010, 2011年度) (2012年度以降)

- ① ▲14.3兆円歳出削減 & 非社会保障歳出名目額横ばい
- ② ▲11.4兆円歳出削減 & 非社会保障歳出物価上昇率並増加



• 消費税率

- 消費税率据え置き
- 2011年度から2013年度にかけて3%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)
- 2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)
- 2011年度から2017年度にかけて7%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)



消費税率引き上げ幅の違い

(共通の想定)

世界経済順調回復シナリオ

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施

(ただし、消費税率を据え置くケースでは、基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応。)

(2010, 2011年度)

(2012年度以降)

▲14.3兆円歳出削減& 非社会保障歳出名目横ばい

(3つの消費税率引き上げ幅)

消費税率を据え置き

2011年度から2013年度にかけて3%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2015年度にかけて5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

2011年度から2017年度にかけて7%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)

→ グラフ上は+印

→ グラフ上は○印

→ グラフ上は□印

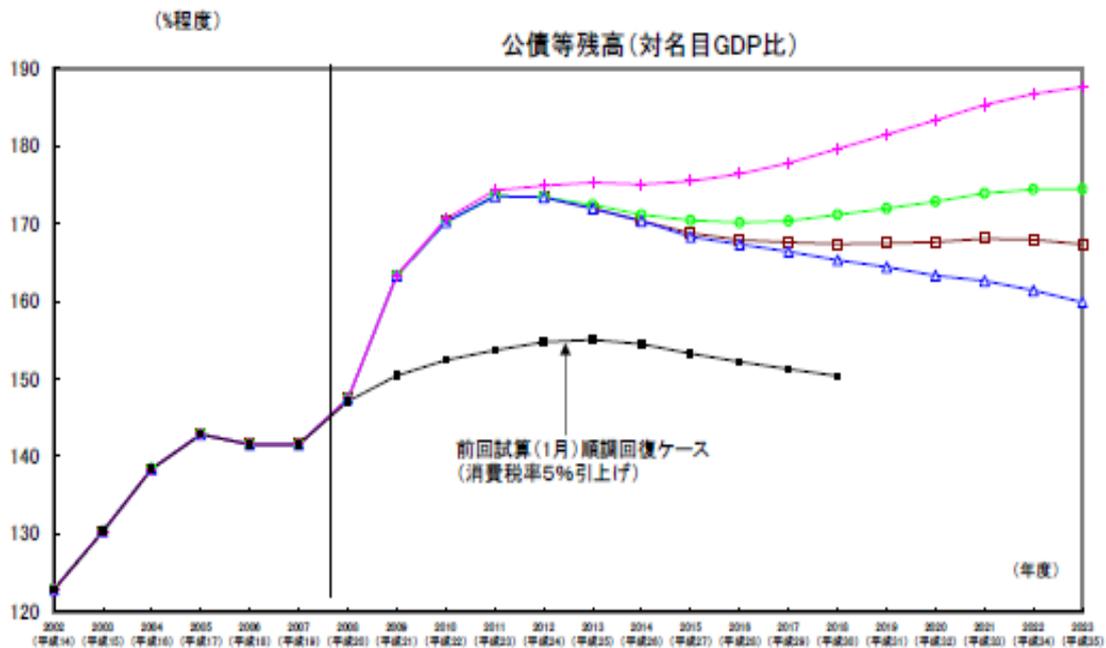
→ グラフ上は△印

71

Keio University
Y Kenjoh



消費税率引き上げ幅の違い



経済想定の違いによる比較

(共通の想定)

社会保障の機能強化を『中期プログラム』の工程表を踏まえ一定の仮定に基づき実施
 2011年度から2015年度にかけて消費税率5%引上げ(試算の便宜上毎年度1%ずつの引上げを想定)
 (ただし、「底ばい継続シナリオ」は消費税率を引き上げず、基礎年金全国率割合の2分の1への引上げ、高齢化の進展に伴い自然に増加する公費負担のみ対応。)

(2010, 2011年度) (2012年度以降)

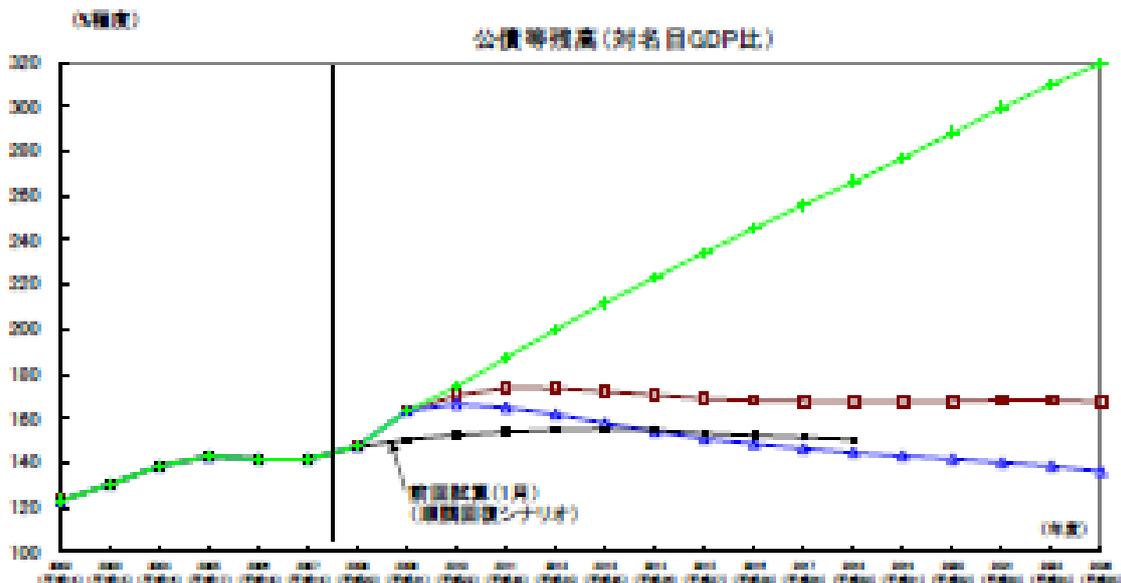
▲14.3兆円歳出削減& 非社会保障歳出名目額ばい

(3つの経済想定)

- 世界経済順調回復シナリオ → グラフ上は□印
- 世界経済急回復シナリオ → グラフ上は△印
- 世界経済底ばい継続シナリオ → グラフ上は+印



経済想定の違いによる比較



とにかく、僕たちだけが、こういう財政状況であることを知っていて、この制約条件の下で社会保障の機能強化を図るための財源をいかに捻出するかということに頭を悩ますのもバカらしいので、みなさんにもこうした事実を共有していただき、一緒に悩んでくださいませ。。革命戦士たちが共有する、こうした事実をみなさんも意識の片隅にでもおいていただければ、巷間賑やかに行われている総選挙に向けた議論などを読んだり・観たり・聞いたりしていると、この国は、やっぱり、もう、逝ってしまってるのかなと思いたくなりますよ(笑)。後は野となれ山となれっだ(￣。￣)ボソ...

でも、ポピュリズムと闘う革命戦士は募集中——連絡不要、それぞれの持ち場でそれぞ

れ自分のの仕事をこなしてくれれば、それであなたも、もう仲間——。

[勿凝学問 240](#)より

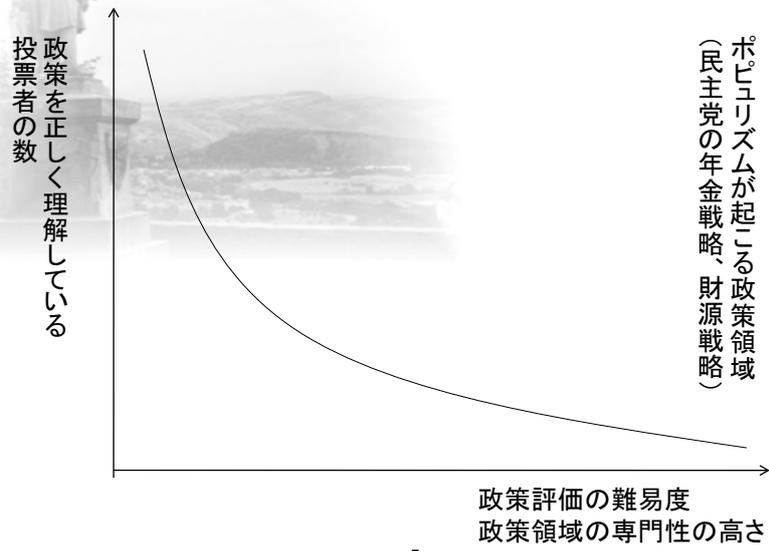
今のような「官僚たちの冬」の時代、反官僚の時代に抗してなのか、それとも反官僚の時代ゆえなのか、日曜日に「官僚たちの夏」が放送されている。「名もなき男たちの闘い」…テレビで流れるこの言葉を聞く度に、ここ2年ほどの世の中の動きを考えてしまう。

志を同じくする一部の政治家、一部のメディア人、一部の官僚、そしてほんの一部の研究者——誰がどういうふうに闘ったのか、その全体像を知っているひとは誰もいない。各人が自分の持ち場で、自分の仕事をこなす。そして、名前も知らず会ったこともない仲間を、陰ながら支えあう。あたかもみんなでスクラムを組みながら、ポピュリズムというとてつもなく大きな相手を、一步一步押しつけていく。この動きを、僕は学生に、静かなる革命と言っていた。

ポピュリズム

- **正しい政治行為とは、合理的に無知な投票者に正しいことを説得することによって権力の地位をねらうことであるにもかかわらず、ポピュリズムというのは、合理的に無知な投票者に正しいことを説得する努力を放棄して(あるいは無知や誤解の度合いを増幅させて)、無知なままの投票者に票田を求めて権力を追求する政治行為である。**

ポピュリズムと政策評価の難易度



5

